

エゾシカ・陸上生態系ワーキンググループの経過報告・今後の予定

1 H22年度 第2回エゾシカ・陸上生態系WGの概要(平成22年10月21日開催)

(1) 主な議題

- ・知床岬における今後の捕獲の進め方
- ・ルサ相泊地区における今後の捕獲の進め方
- ・知床半島エゾシカ保護管理計画の見直しについて

(2) 知床岬における今後の捕獲の進め方

- ・3年間の密度操作実験により、目標の一つである2008年の推定越冬数の半減を達成した。また、個体数の減少および攪乱により、わずかながら植生の回復傾向も確認されている。
- ・そのため、今後は効率的な捕獲を実施するため仕切り柵の設置を併用した中長期的な捕獲を行っていく。当面はエゾシカの密度を5頭/km²程度を暫定的な目標とする。
- ・今年度は仕切り柵の測量と設計を実施した。着工は来年の夏の予定。
- ・今年度の捕獲は、昨年度と同様に厳冬期にヘリコプターにより知床岬にアクセスし、巻狩りによる捕獲を実施する。

(3) ルサ相泊地区における今後の捕獲の進め方

- ・密度操作実験の試行として、様々な捕獲手法を実施し、効率性やコスト、課題等を検討する。
- ・海外専門家の提言に基づき改良したシャープシューティングをルサ川右岸2地点において実施する。
- ・あわせてルサ川左岸において罠いわなによる捕獲を実施する。

(4) 知床半島エゾシカ保護管理計画の見直しについて

- ・第1期知床半島エゾシカ保護管理計画は、平成19年4月～平成24年3月まで。そのため来年度中に保護管理計画の見直しを行う。
- ・知床半島全体でのエゾシカ個体数はピークと比較すると減少したが、依然として飽和状態が維持されており、植生への影響が引き続き懸念される。

2 今後の主な予定

平成23年 3月15日 第3回エゾシカ・陸上生態系WG

- ・エゾシカ保護管理計画の見直しが主要検討課題
- ・「希少猛禽類の保全とエゾシカ対策の実施に関する意見交換会」も同時開催の予定